

令和二年度(第二十五回) 肥後医育振興会医学研究助成を行う

令和二年度(第二十五回) 肥後医育振興会医学研究助成金授与候補者の選考が、令和二年九月十七日に肥後医育振興会助成選考委員会において行われました。

令和二年度の助成選考委員会委員は、それぞれの所属機関から推薦を受けた次の七名です。熊本大学大学院生命科学研究部から尾池雄一教授(基礎系)、荒木栄一教授(臨床系)、北島美香教授(保健学系)、熊本大学薬学部から入江徹美教授、センター系からは熊本大学生命資源研究・支援センターの南敬教授、熊本県医師会から高橋毅理事(国立病院機構熊本医療センター院長)、関連病院からは済生会熊本病院の原武義和副院長で構成され、互選で尾池雄一教授が委員長となつて、応募者ひとり一人について公正且つ厳正な選考が行われました。

本年度の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究部及び医学教育部から六名、熊本大病院から十名、ヒトレトロウイルス学共同研究センターから三名、熊本市立熊本市市民病院から一名の

計二十名であり、その中から次の四名が授与候補者として選考されました。その後、理事長に推薦し、常任理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されました。

なお、併せて「肥後医育振興会学術奨励賞」という賞を付与し表彰されました。

*植原知里氏は肥後医育振興会学術奨励賞のみ付与。

有馬勇一郎(四十歳)

熊本大学大学院生命科学研究部

助教 循環器内科学講座

「ミトコンドリアタンパクのアセチル化を介した循環器疾患形成機

序の解明」

平山 真弓(三十二歳)

熊本大病院 医員 中央検査部

「RNAヘリケースによるDNA

Loopの制御を介した腫瘍発症抑制

メカニズムの解明」

植原 知里(三十五歳)

ヒトレトロウイルス学共同研究センター

特定事業研究員分子ウイルス・遺伝学分野

「全APOBEC3遺伝子欠損方

法の確立とHIV-1感染における影響の解析」

齊藤 宏和(三十六歳)

熊本市立熊本市市民病院 医員 消化器内科

「総胆管結石症における内視鏡的

膵胆管造影検査(ERCP)後膵

炎の発症リスクについての多施設

共同後ろ向き試験」

令和二年度(第二十四回) 肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う

医学・医療国際交流支援事業の一つとして、令和二年度(第二十四回) 肥後医育振興会外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、医学研究助成金授与候補者の選考に併せて行われました。

本年度は、熊本大学大学院医学教育部から四名の応募があり、次の四名が授与候補者として選考されました。

その後、理事長に推薦し、常任理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されました。

なお、併せて「肥後医育振興会優秀留学生表彰」という賞を付与し表彰されました。

魏 峰(中国)

大学院医学教育部 博士課程二年

消化器外科学

消化器外科学



Subba Rao Madhura (インド)

大学院医学教育部 博士課程二年

多次元生体イメージング学

付 凌峰(中国)

大学院医学教育部 博士課程三年

消化器外科学

胡 熙晨(中国)

大学院医学教育部 博士課程三年

消化器外科学